

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
紫苑ステークス	別定	GIII	中山	芝2000m	良想定	平坦	中荒れ	D

※文字色の意味 2018/9/8
 赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬
 紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	血統	適性	能力	データ	ペース	総合	人気	印	結果	大駆け
1	マウレア	武豊	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	ストームキャット	ストームキャット	B	B	A	B	B	B	1	○	1	0
2	オハナ	石橋脩	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	B	C	D	C	D	D	13	消	8	5
3	パイオニアパイオ	木幡巧	ルーラーシップ	キングマンボ	ゼンノロブロイ	サンデーサイレンス	C	B	B	C	C	C	7	☆	4	3
4	サラス	田辺	オルフェーヴル	サンデーサイレンス	タビット	シアトルスルー	B	C	C	B	C	C	3	△3	13	-10
5	ロサグラウカ	石川	ルーラーシップ	キングマンボ	クロフネ	ヴァイスリージェント	C	C	B	C	B	C	8	△2	11	-3
6	クイーングラス	丸田	ルーラーシップ	キングマンボ	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	B	B	B	C	A	B	4	◎	7	-3
7	メサルティム	内田	ディーブプリランテ	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	C	B	D	D	D	D	12	消	9	3
8	ランドネ	吉田準	ブレイル	ロベルト	エービーインディ	シアトルスルー	C	C	C	C	D	C	6	△5	3	3
9	カレンシリエージョ	松山	ハービンジャー	デインヒル	ヌメラス	ヌメラス	B	B	C	D	D	C	9	△6	10	-1
10	ロマンテソロ	北村宏	ヴィクトワールピサ	サンデーサイレンス	アグネスデジタル	アグネスデジタル	D	D	D	C	D	D	14	消	12	2
11	ハーレムライン	大野	マンハッタンカフェ	サンデーサイレンス	グルームダンサー	ブラッシンググルーム	B	B	C	C	C	C	10	△4	5	5
12	アヴィオール	戸崎	リダウツツョイス	デインヒル	オブザーヴァトリー	オブザーヴァトリー	C	D	C	C	D	D	11	消	6	5
13	ホクセンジョウオー	菊沢	サムライハート	サンデーサイレンス	モルフェウスベクタ	ヴァイスリージェント	D	C	E	C	E	E	15	消	16	-1
14	ノームコア	ルメール	ハービンジャー	デインヒル	クロフネ	ヴァイスリージェント	B	B	C	C	C	C	2	△1	2	0
15	レッドベルローズ	三浦	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	アグネスデジタル	アグネスデジタル	B	B	B	C	B	B	5	▲	14	-9
16	ロフィティフレーズ	松岡	ロードカナロア	キングマンボ	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	D	D	D	D	D	D	16	消	15	1

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
<p>今年で重賞になって3年目の紫苑ステークス。以前はここで秋華賞の権利を取ってもどう考えても秋華賞では通用しないぐらいのメンバーレベルだったが、ここ2年は重賞になった事で有力関西馬がローズステークスとの使い分けでこちらに回ってくるケースが増えてきた感じで、ここ2年はヴィブロス、ディアドラと紫苑ステークス組が秋華賞を勝利している。明らかにここ2年は重賞になった事でメンバーレベルが上がった感じで、レース結果を見てもビッシュ、ヴィブロス、ディアドラあたりは展開や適性云々ではなく、能力の違いで外からねじ伏せるような競馬での好走。以前の紫苑ステークスとは別物になったと思わせるものであった。</p> <p>ところが、今年に関して言えばここ2年と同じ考えではマズそうな感じ。桜花賞5着、オークス5着のマウレアが押し出されて断然人気になりそうなメンバー構成。関西からの有力馬もおらず、唯一それに該当する感じであったフィニフティも翌週のローズステークスに回った。今年はここ2年よりは明らかにレベルが落ちそうで、以前のオープン戦時代の紫苑ステークスのようなイメージで考えて良さそうだ。</p> <p>そしてもうひとつ気になるのがやたらと休み明けの有力馬が多い事。人気になりそうな馬を見ても、マウレア、ノームコア、レッドベルローズ、ランドネ、パイオニアパイオ、ロサグラウカ、ハーレムライン、オハナなどは全て休み明け。昨年の紫苑ステークスは1〜3着馬まで全て夏に使われた続戦組でしたし、メンバーレベルが低くて混戦が予想される今年はより夏に使われているということが強みになりそう。夏の成長度がイマイチわからない、仕上がり具合がよくわからない実績馬を買うぐらいなら、夏にきっちり使われてきて実績馬とも互角に戦えそうな馬を狙いたい。</p> <p>本命は能力最上位ながら人気の盲点になりそうな◎クイーングラスが面白い。デビューこそ遅れたが既定馬相手の初戦で調教の動きだけで1番人気に推されたほどの素質馬。そのデビュー戦は外めから楽に抜け出して後ろを突き放す圧勝劇。このデビュー戦だけを見てもこの馬は500万に在るような馬ではない。</p> <p>2走前は牝馬限定戦ながらかなりのハイレベルなメンバーが揃った一戦。超高速馬場での5ハロン連続のロンスパ戦になり時計も相当速かった一戦。この500万の勝ち時計は同開催の古馬オープン戦のキャピタルSと同じでしたし、そんなハイレベル戦を道中最後方から一頭だけ別次元の末脚で突っ込んできたこの馬は一番強い競馬をしていた。そんなデビューから2戦で圧巻のパフォーマンスを見せていたこの馬だけに前走の500万は当然のように1番人気に支持された。スタートを決めて前につけられたのは良かったが、前半1000m=63.4という超スローペースになってしまっただけで最後はキレ負け。この馬も上がり32.8という極限の脚を使っており、このレースに関しては力負けではなく展開の悪さが全てだろう。</p> <p>ここ2戦の内容を見ても500万は圧勝しておかしくない馬で、おそらく昇級しても1000万で勝ち負けになっていい馬。例年の紫苑ステークスのレベルで考えても1000万で勝ち負けになるような馬は上位争いになりますし、それでいて500万を勝てなかったと言うことで今回人気を落とすのであればここは絶好の狙い目に見えます。</p>
REVIEW
<p>先行馬が揃っていたレースだったがあっさりランドネが先手を奪い切って前半スローの展開に。そのペースにじれたカレンシリエージョが途中から捲ってきて一気にペースアップ。5ハロン連続のロンスパ戦になって時計も1:58:00となかなか優秀。直線が追い風だったこともあって最後まで加速ラップで推移した。</p> <p>そんな風の影響やルメールが完璧に乗ったということもあったが、それにしてもノームコアは非常に強い競馬。夏の間にかなりの成長が見られており、血統を見ても本来はこういう瞬発力勝負が得意なタイプでもないだろう。激流で持久力勝負になりやすい秋華賞で大仕事をやってのける予感。</p>

血統		
<p>2016年はディーブインパクト産駒の素質馬のワンツー。昨年はダンジグの血を持つ馬のワンツー。「タフ」な部分と「スピード」の両面を兼ね備えているような血統が走りやすいか。</p>		
適性		
<p>例年、トライアルレースにはペースが流れる傾向にあり、差が決まっています。エアレーション馬場の影響もあり、差しも普通に決まる。</p>		
データ		
<p>○1番人気 (3-1-2-4) △関西馬で当日6番人気以下 (0-0-1-17) △前走1000万下 (4-3-1-18) ○前走1000万下 (4-3-1-18) ×前走条件戦で1秒以上負け (0-0-0-15) ×前走条件戦で6着以下だった馬で当日7番人気以下 (0-0-0-26) ×間隔中1週以内 (0-0-0-13)</p>		
ペース		
<p>先行馬が多数いるが、その中でもホクセンジョウオーかランドネあたりが引く張る流れか。スローは考えられなさそうで、ある程度ペースが流れての地力勝負になりそう。</p>		
危険な馬		
<p>ランドネ=能力自体はありそうだが、マイペースで先行できないと臆そうなタイプ。今回は同型多数で楽な展開にはならなそう。抑えぐらいが妥当ではないだろう。</p>		
妙味大な馬		
<p>クイーングラス=ここ2戦の内容を見ても500万は圧勝しておかしくない馬で、おそらく昇級しても1000万で勝ち負けになっていい馬。例年の紫苑ステークスのレベルで考えても1000万で勝ち負けになるような馬は上位争いになります。</p>		
穴馬		
<p>特になし</p>		
タイム	上3F	下3F
1:58:00	35.1	34.2
ラップタイム	12.1 - 10.8 - 12.2 - 12.3 - 12.7 - 11.9 - 11.8 - 11.5 - 11.5 - 11.2	

Copyright (C) 2014 - KAZ
 All Rights Reserved.
 本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

